

彦根中央 リハビリぽすと

平成 28 年 11 月 号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-rehacl.com/>

受付から

霜月(十一月)を迎えて

日本では、旧暦 11 月を霜月(しもつき)と呼び、現在では新暦 11 月の別名としても用いられます。「霜月」は文字通り霜が降る月の意味であり、他に、「食物月(おしものづき)」の略であるとする説や、「凋む月(しばむつき)」「末ツ月(すえつき)」が訛ったものとする説もあるそうです。また、「神楽月(かぐらづき)」や「子月(ねづき)」の別名もあります。英語での月名、November(ノーヴェンバー)は、「9 番目の月」の意味で、ラテン語で「第 9 の」という意味の「novem」の語に由来していて、実際の月の番号とずれているのは、紀元前 46 年まで使われていたローマ暦が 3 月起算で、(そのため年末の 2 月は日数が少ない) 3 月から数えて 9 番目という意味であります。

健康コラム

紅葉はなぜ起きるの？

朝晩の冷え込みがきつくなって、日照時間が短くなると、光合成を十分にできなくなる→植物はできるだけ養分を失わないよう、自然に葉全体に分散していた水分や養分を、葉の付け根に集める→葉の水分が減って、緑色の元であるクロロフィルという色素が分解される→緑色の色素を失った葉には、その他の色素(カロチノイド)だけが残る、結果葉が黄色くなる(カエデなど)。または、糖分を多く持っている植物は、養分が葉っぱの付け根に集中して、離層を形成すると、クロロフィルの分解と引き換えに、アントシアニンという色素を新たに作り出し、結果、葉が赤くなる(もみじなど)→この状態が一定期間継続すると、やがて水分が抜けきった葉は、自然に落葉する。

落葉広葉樹の場合、光の少ない時期はエネルギー的に光合成で得られるプラスの効果より、葉に養分や水分を送り続けるマイナスの効果が大きくなるので、葉を落として活動休止(冬眠状態)する方が、生存率が高まるからです。

紅葉は葉を落葉させる為の準備段階として、これまで葉に溜められていた養分を樹木本体に集める過程で起きる、自然現象です

とびっくす

インフルエンザ予防接種

(期日) 11 月より 12 月まで
(費用)

65 歳以上(彦根市) 1,390 円

14~64 歳 4,620 円

(実費負担となります)

13 歳以下の方は受付しておりません

あしからずご了承ください。

また、彦根市以外犬上 3 町の 65 歳以上の方は所定の用紙を持っていただくと 1,000 円になります。

(受付及び各自治体でお確かめください)

診察医のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	吉田	山崎	吉田	×	吉田	松井
午後	吉田	山崎	×	×	吉田	松井

午前診察 9:00~12:00 休診日:日曜・祭日

午後診察 4:30~6:30

ご連絡

インフルエンザの予防接種

始めました。

ご希望の方は受付までお申し付け下さい

